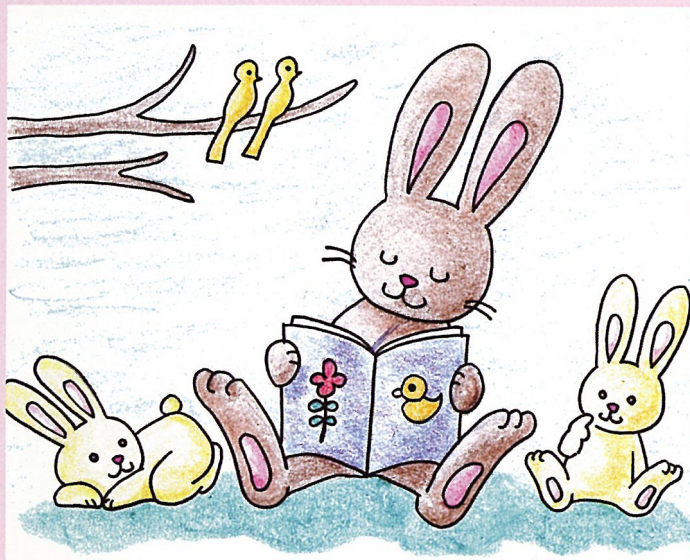


0歳児～3歳児向け

# おすすめ絵本



えほんふれあい事業実行委員会

# 音

## 音の響きを 楽しむ絵本

### 「ころころころ」

(元永定正 作 福音館書店)

#### ころころころ



いろいろな色の小さな玉が仲良く並んでころころころ。階段をころころ、でこぼこみちをころころころ。自分の好きなリズムで楽しめる本です。

### 「もこもこもこ」

(たにかわしゅんたろう 文 元永定正 絵 文研出版)

#### もこもこもこ



もこ、によき、ぱく。でてくる言葉はこんな擬音だけ。ふしぎな「もこもこ」の世界で自由にあそべる絵本です。

### 「ぴょーん」

(まつおかたつひで 作 ポプラ社)

#### ぴょーん



縦に開くと、かえるやねこなどの動物が「ぴょーん」のことばに合わせて飛び上がります。

### 「わんわんわんわん」

(高島純 作 理論社)

#### わんわんわんわん



「わんわん」「にゃーご」「びびっ」とおなじみの動物たちの鳴き声だけでおはなしが展開します。初めは静かに。しだいに大興奮。ところがそのあと…。親子で楽しめる絵本です。

# 読

## 読み物絵本

### 「きんぎょがにげた」

(五味太郎 作 福音館書店)

#### きんぎょが にげた



金魚ばちの中から金魚が飛び出しあちこちかかれています。どこにいるか探すのが楽しい！！最後は、つい、にっこりしてしまいます。

### 「ぐりとぐら」

(中川李枝子 文 大村百合子 絵 福音館書店)

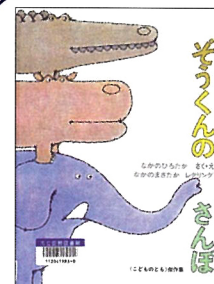
#### ぐりとぐら



ページをめくるにつれカステラのおいしさそうな匂いが…。愛らしい絵とリズムカールな名文で子ども達の心を捉えたこの絵本は40年もの間読みつがれています。

### 「ぞうくんのさんぽ」

(なかのひろたか 作 福音館書店)



動物たちが上に重なって、最後に「どっぼーん」と崩れてしまうところが、赤ちゃんも好きなつみき遊びに似ています。少し大きくなっても楽しめる絵本です。

### 「ふね」

(パイロン・バートン 作 金の星社)

#### ふね



「てこぎぼーと」から大型客船までたくさんの船が登場する。空と海の間のかっこいい水平線とリズムカールな波で小さな絵本の中に大きな海を感じます。

# 言葉 しかけ

## 言葉やしかけで 一緒に遊ぶ絵本

### 「いないいないばあ」

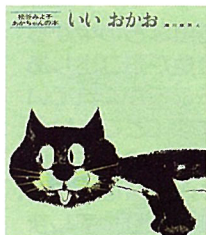
(松谷みよ子 文 瀬川康男 絵 童心社)



顔を隠したネコさんが、ページをめくると…。いないいないばあ。優しい絵柄の動物たちと一緒に、親子で「いないいないばあ」をして遊びたくなる絵本です。

### 「いいおかお」

(松谷みよ子 文 瀬川康男 絵 童心社)



ふうちゃんもねこさんもみんなとってもいいおかお。「○○ちゃんのいいおかおは？」そんな言葉がでてきてしまう絵本です。

### 「もうねんね」

(松谷みよ子 文 瀬川康男 絵 童心社)



おめめがねむたいよう。みんなねんね。「おやすみなさい」を言う前に読んであげたい絵本です。

### 「まるまる」

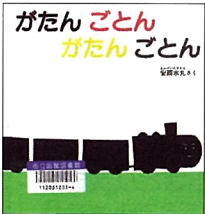
(中辻悦子 作 福音館書店)



丸く穴のあいたところから、見えかくれる鮮やかな色のまるや文字。「まるまるこまる」や「まるまるえっへん」などおもしろい言葉の響きを味わいながら、いろいろな形や絵が楽しめます。

### 「がたんごとんがたんごとん」

(安西水丸 作 福音館書店)



シンプルな絵に「のせてくださーい」の繰り返しと「がたんごとん」のリズム感が心地よい。さあ、おかあさんも一緒に出かけよう。子どもの好きなごっこ遊びの本です。

### 「さよならさんかくまたきてしかく」

(松谷みよ子 文 上野紀子 絵 偕成社)



リズムカルなことはあそびと、ドキッとさせる展開が楽しい。母から子へ伝えたい心のうた。口ずさんで楽しむ絵本です。

### 「かおかおどんなかお」

(柳原良平 作 こぐま社)



笑った顔、泣いた顔、すました顔。いろいろな顔がでできます。シンプルな線で描かれたユーモラスな表情につられて、ページをめくるときに目や口やほっぺがひとりでに動いてしまいます。

### 「はらぺこあおむし」

(エリック・カール 作 偕成社)



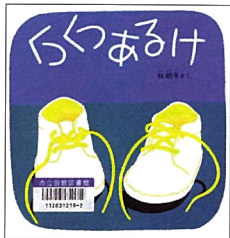
ページをめくると、おいしいそうなものがいっぱい。あおむしと一緒にパクパクモグモグ。次はなにを食べようか？そんな気持ちになってくる楽しい絵本です。

# 生活

## 子どもの日常が 描かれている絵本

### 「くつつあるけ」

(林明子 作 福音館書店)



「くつつ ばた ばた とんとん ぴよーん」擬音と共に歩き出したくなる楽しい絵本です。

### 「いやだいやだ」

(せなけいこ 作 福音館書店)



ルルちゃんは「いやだいやだ」って言ってばかりいます。「いやだいやだ」って言われると悲しくなるんだね。

### 「きゅっきゅっきゅっ」

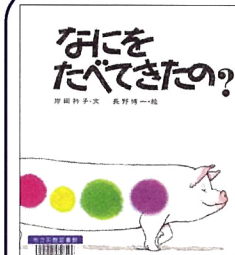
(林明子 作 福音館書店)



おいしいスープ「あっ」だれかさんがおててにこぼしています。ふいてあげるね。「きゅっきゅっきゅっ」小さな子の大好きな繰り返しが楽しいです。

### 「なにをたべてきたの？」

(岸田衿子 文 長野博一 絵 佼成出版社)



主人公のブタさんは美しくなりたくて、次々と異なる果物をむしゃ、むしゃ…身近な果物とブタさんの表情の変化が楽しめます。

### 「ねないこだれだ」

(せなけいこ 作 福音館書店)



時計が9時を指してなります。ボン、ボン。こんな時間に起きてるのは、誰だ？ふくろうにみみずく？ねずみ？どろぼう？夜中はおばけの時間だから、夜中に遊ぶ子はおばけになって飛んでいけ…

### 「あーんあん」

(せなけいこ 作 福音館書店)



保育園に預けられる子どもの心情がよくわかります。いざとなったらお母さんが助けに来てくれると子どもは信じているんですね。さまざまな材質の紙を使った貼り絵が親しみやすい本です。

### 「くだもの」

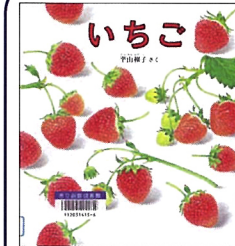
(平山和子 作 福音館書店)



いちご、なし、りんご、バナナ。身近な果物がみずみずしく描かれています。「さあどうぞ」の言葉をそえて差し出される問いかけに思わず赤ちゃんもお口があーんと開きます。

### 「いちご」

(平山和子 作 福音館書店)



雪に埋もれたいちごの苗…。暖かくなったら、いちごの実がなるからね。だんだん赤く色づいて…。真っ赤になって…おいしそうないちご！「いただきます！」

# その他おすすめ絵本

## 「おつきさまこんばんは」

(林明子 作 福音館書店)



まっくらな夜にまんまるおつきさまが浮かびます。日常にあるおつきさまの静かな存在に改めて大人も気づかされます。

## 「じゃあじゃあびりびり」

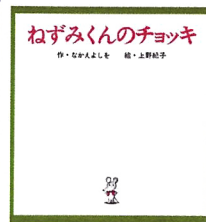
(まついのりこ 作 偕成社)



赤ちゃんの大好きな擬音語で、身近なもの名前と形と音がすべてつながって絵本の世界に表現されています。小さな手でも持ちやすいサイズ。

## 「ねずみくんのチョコッキ」

(なかえよしを 文 上野紀子 絵 ポプラ社)



お母さんの手作り、赤いチョコッキを着たねずみくんは、とても誇らしげです。あまりに素敵なチョコッキなのでお友達が次々に拝借。みんなが試着して、小さなねずみくんのチョコッキは、最後に…。

## 「コップちゃん」

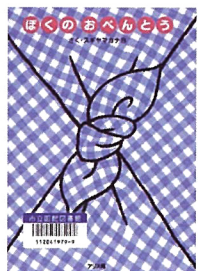
(中川ひろたか 文 100%Orange 絵 ブロンズ新社)



「こんにちは」「おなまえは?」「いくつ?」と赤ちゃんがよく話かけられる言葉が続きます。赤ちゃんとお話を楽しめる絵本です。

## 「ぼくのおべんとう」

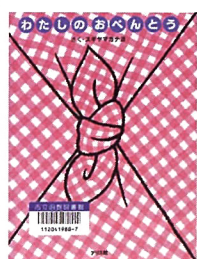
(スギヤマカナヨ 作 アリス館)



パカーン。まずはたまごやき。やったあ、からあげもあるぞ。「ねえ、ミートボールとからあげ、とりかえっこしよう」「うん、いいよ」楽しいお弁当の時間で。

## 「わたしのおべんとう」

(スギヤマカナヨ 作 アリス館)



ジャーン。ツナたまごのサンドイッチ。ミートボールもあるんだ。きのう、おかあさんとつくったんだ。おとうさんはね、ブロッコリーがきらいなんだよ。わたしはだいすき。

## 「たまごのあかちゃん」

(かんざわとしこ 文 やぎゅうげんいちろう 絵 福音館書店)



シンプルな絵と繰り返すことばに子どもたちは引き込まれ、声を合わせて呼びかけています。かくれんぼ大好きな子どもたちにはたまらない1冊です。

## 「ぞうくんのあめふりさんぽ」

(なかのひろたか 作 福音館書店)



人気絵本「ぞうくんのさんぽ」の続編! ぞうくんの散歩はハラハラする散歩です。